

ご 挨拶

皆様には、日頃から愛知県安全運転管理協議会の運営につきまして格別のご高配をいただいております。とりわけ昨年からは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、総会や理事会の開催もできず、法定講習の実施も大幅な変更を余儀なくされるなど、各地区協議会の皆様には例年にも増して大変なご支援を賜りました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

予定されておりました定例理事会は何とか開催いたしました。定時社員総会は中止することいたしました。議決が必要な議案につきましては、文書で表決していただくことといたしましたので、ご理解ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

さて、昨年の愛知県内の交通事故死者数は戦後最少の154人であり、引き続き全国ワーストを返上することができましたが、まだまだ私たちの交通安全活動によって交通死亡事故を減らしていくことの必要性、そして可能性を感じております。

私たち愛知県安全運転管理協議会を含めた交通安全関係機関・団体の目標とは、交通死亡事故をこれからも継続的に減少させていくことであり、愛知県こそが全国の交通安全活動のリーダーとして効果的な施策・対策を展開することによって日本中の交通事故を減らし、死亡事故をなくしていくことであります。

また、交通人身事故の負傷者数につきましては、前年比で20%もの大幅な減少を示しておりますが、4月単月で前年比40%も減少するなど、新型コロナウイルスの感染拡大によって様々な社会活動が抑制されたことが大きく影響しているものと考えられます。

一方、自動車の安全機能は更に進化しており、交通事故の減少に寄与していくことが期待されておりますが、安全機能が進化していく現在こそ、私たちドライバー自身の安全意識を高め、その安全意識を多くの方々と共有すること、すなわち私たち自身の力で交通事故を減少させていくことが求められております。

県内の死亡事故は継続的な減少傾向を示しておりますが、安全運転管理者選任事業所の関与する死亡事故につきましては、昨年は37件37人であり、前年と比べ+10件+10人と大きく増加しております。今一度、県内1万2千余の会員事業所それぞれが交通事故抑止に向けた決意を新たにし、従業員一人一人の安全意識を高め、死亡事故を継続的に減らしていかなければなりません。

こうした現状を踏まえ、事業計画では、基本目標を

「企業一体となった 安全活動を推進して 地域社会に貢献しよう」

と定め、四つの業務重点を掲げ、本年度も引き続き「歩行者保護運転の徹底」に重点を置いた内容といたしました。

提案をさせていただきました事業計画や予算等につきまして、皆様のご判断を賜りますようお願い申し上げます。

また、法定講習につきましては、道路交通法が期待する交通安全対策の重要な柱の一つであり、警察本部と連携を図って的確に対応して参りますが、オンライン講習を含め、各地区協議会のご理解とご協力がなければ実施できるものではありません。受講率を向上させ、法定講習の実効性を高めるため、皆様のご理解とご協力をお願いする次第でございます。

結びになりますが、各地区協議会、賛助会員、そして会員事業所のますますのご発展と皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしております。

公益社団法人 愛知県安全運転管理協議会
会 長 相 羽 繁 生